

基本目標	主な施策	現状と課題		対 策
		第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価書から(KPI)	市民意識調査から	
【基本目標1】 日本で、世界で、 稼ぐ産業の創出	高速交通網の拠点で稼ぐ	●企業立地件数は新東名島田金谷IC周辺における工業用地の整備と企業誘致活動は継続し実施しているが、コロナの影響も加わり達成率は13.3%で留まっている。	●【満足度と重要度】 「企業への支援や誘致などの工業振興」…概ね満足度が低いが重要度が高い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 31.4%の割合で「地域資源を活かした企業誘致や雇用の確保」	●新東名島田金谷IC周辺に工業用地の整備を進めるとともに企業誘致を推進する。
	まちの魅力を生かして、戦略的な観光で稼ぐ	●コロナの影響により落ち込んでいた観光交流客数、宿泊者数は回復傾向にあるが、宿泊者数と観光消費単価は基準値以下で推移している。 ⇒宿泊や観光消費単価向上に繋がる取組が求められる。	●【満足度と重要度】 「地域の特色を活かした観光振興」…概ね満足度は低いが重要度が高い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 13.4%の割合で「市の魅力を活かした観光の推進」	●大井川流域を軸とし地域連携により、観光資源を組み合わせ魅力的な滞在型観光を進める。 ●富士山静岡空港からの外国人観光客を誘致する。 ●文化資源を活用し、新たな観光資源として成長させていく。
	新たな付加価値による農林業で稼ぐ	●「実質化された人・農地プラン」に位置付けられた担い手の数はR4は減少に転じたが目標値を上回り推移している。 ●認定農業者への農地集積率について、達成率は16.9%で留まっている。 ●認定農業者数は伸び悩み、離農者も増えR4は減少に転じ基準値以下で推移している。 ⇒新規就農者や農業後継者の育成などによる農業従事者の確保が求められる。 ●林業においてはコロナの影響により木材価格が高騰し、主伐へ転換したことも要因と考えられ森林整備面積の減少し基準値以下で推移している。加えて林業従事者の不足によることも要因の一つとして考えられる。 ⇒安定した流通と価格、林業従事者の確保が求められる。	●【満足度と重要度】 「農林業の振興」… 概ね満足度は低いが重要度が高い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うために重要と思われる取組】 13.1%の割合で「担い手確保や生産基盤強化など、持続可能な農林業に向けた取組の推進」	●担い手の確保や生産基盤を強化を進めるとともに、ICT技術の導入促進による省力化や戦略的な生産を目指す農業を推進する。 ●大学生や高校生等の市内就職を促進し、学生等と市内企業のマッチングを促進する。 ●荒廃農地について、担い手への農地集積による再生を図りながら農地保全を進める。 ●大井川産材の利用を促進するとともに、農道網の整備や高性能林業機械の導入により、低コスト生産システムの構築を推進する。
	地域産業の競争力を高めて稼ぐ	●新規創業者は産業支援センターによるセミナーや相談などの支援により増加が続き目標値を上回り推移している。 ●中心市街地の1日当たり通行量について来街者は回復傾向にある。様々なイベントを開催するなど来街者の誘導を図り一定数の効果はあったが、長引くコロナや物価高騰の影響により消費が落ち込み中心市街地の通行量は基準値以下で推移している。 ⇒中心市街地の賑わいや活性化が求められる。 ●中心市街地の新規雇用者数の増加において、産業支援センターの事業者支援や創業補助金等により新規出店、雇用者数は増加傾向にあり目標値を上回り推移している。	●【満足度と重要度】 「企業への支援や誘致などの工業振興」…概ね満足度が低いが重要度が高い ・「企業への支援や誘致などの工業振興」…概ね満足度が低いが重要度が高い ・「雇用の確保・創出」…満足度は低い ・「魅力ある商店街づくりなどの商業振興」…満足度は低い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 ・31.4%の割合で「地域資源を活かした企業誘致や雇用の確保」 ・20.0%の割合で「経営基盤の強化や空き家、空き店舗のリノベーションなどによる商業活動の活性化」	●島田市産業支援センターのさらなる機能強化を図る。 ●大学生や高校生等の市内就職を促進し、学生等と市内企業のマッチングを促進する。 ●商店街のにぎわいを創出するための事業を支援する。 ●空き家、空き店舗を活用したオフィス進出を支援し商業及び中心市街地の活性化を図る。 ●デジタルトランスフォーメーション(DX)への理解をあらゆる産業に広め、生産活動の効率化などを図るほか、新たなサービスの創出につなげる。
【基本目標2】 島田市とつながり、 住み、好きになる	移住・定住の促進	●これまでの情報発信や広告配信に効果が見え、相談窓口を利用し市外からの移住者は増加傾向にあり達成率60.4%となった。 ●移住ポータルサイト閲覧時間は目標値を上回り推移している。 ⇒移住者獲得のため引き続き相談や情報発信を継続する必要がある。	●【満足度と重要度】 「関係人口との関係の強化」…満足度が低く重要度も低い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 ・11.4%の割合で「市の魅力の情報発信や移住体験などを通じた取組による移住・定住の促進」 ・2.8%の割合で「関係人口拡大に向けたサテライトオフィスやワーケーションの誘致」	●起業や就業、子育て支援、地方創生テレワークなど移住希望者の相談に幅広く対応できる相談体制を整える。 ●デジタルマーケティングの手法を生かし本市の魅力など情報を発信する。 ●交流人口を関係人口に、関係人口を定住人口に発展させ「島田のファン」を増やす。
	シティプロモーションによるまちの魅力創造	●都市の魅力度はイベントやSNSでのプロモーションを実施しているが大幅な向上には至らず、基準値以下で推移している。 ⇒効果的なプロモーションについて改善が求められる。 ●市の公式ホームページはSNSなどによる誘導が効果的だったこともあり目標値を上回り推移している。 ●市内において「島田市緑茶化計画」が浸透しておらず、取組を知っていると答えた市民の割合は基準値以下で推移している。 ⇒市民に、島田市緑茶化計画を知ってもらう取組が求められる。	●【島田市は情報発信力があるか】 特にそう思う1.2% そう思う以上15.3% 普通53.3% ●【島田市緑茶化計画を知っていますか】 名前も内容も知っている11.5% 名前だけは知っている69.5%	●デジタルマーケティングの手法を生かすなど効果的なシティプロモーションを展開する。 ●市内における「島田市緑茶化計画」を定着させ、市民と一体となり市外に情報発信していく。
	地域を支える人材育成、多様な主体との連携	●市内高校生と連携した事業は着実に実施され目標値を上回り推移している。 ⇒若者定着や未来を担う人材の育成が期待できることから事業継続が必要である。 ●しずおか中部連携事業はコロナの影響により集客を伴うイベントが未実施が続き基準値以下である。	●【満足度と重要度】 「周辺市町との連携によるまちづくりの推進」…概ね満足度は低い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 43.5%の割合で「若い世代が結婚や家庭を持つ希望を叶える取組」	●高校や大学、経済団体など多様な主体との連携により、地域の課題意識や貢献意識を共有し、将来を担う人材を育成する体制を強化する。 ●5市2町との連携により圏域全体の活性化を図る。
【基本目標3】 結婚、妊娠、出産し、 子どもをまんなかに 子育てする	結婚するきっかけづくり	●島田市結婚支援ネットワークの支援による相談や支援が成婚につながり目標値を上回った。 ⇒引き続き、相談や出逢いの場の創出など支援体制が必要である。	●【結婚していない理由】 結婚したいと思える相手がいないが31.1%と最も多く、次いで出会う機会・きっかけがないが24.3%	●島田市結婚支援ネットワークの活動を支援する。
	妊娠から出産に寄り添う	●赤ちゃん訪問率は島田市版ネウボラによる担当保健師の訪問サービスが着実に進められ達成率100%で推移している。 ⇒引き続き、妊娠や出産などに関する不安払拭に努める支援体制が必要である。	●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 14.1%の割合で「妊娠中や出産に関する不安を軽減し、希望する妊娠・出産を実現するための支援」 ●【理想的な子どもの数を実現するために課題となること(なりそうなこと)】 子育てや教育にお金がかかりすぎるが62.7%と最も多く、次いで子育てを手助けしてくれる人がいない20.0%	●不妊等に悩む方からの相談に応え、必要な情報を提供できる体制を確保する。 ●妊婦の妊娠中や出産に関する不安を軽減するためオンライン相談など相談体制を確保する。 ●妊産婦の健康診査や健康相談・保健栄養指導を実施安全・安心な出産・育児環境を整える。
	子どもをまんなかに子育てする	●担当保健師の認知度については、知ってもらう機会を設けながら保護者との関係づくりを進めてきた結果、目標値を上回り推移している。 ●保育園の待機児童はゼロを維持しているものの放課後児童クラブの待機児童は定員を増員し対策を講じたが解消までは至らずR4は達成率10.2%となった。 ⇒放課後児童クラブ待機児童ゼロへの対応が求められる。 ●職場における男女平等であると思う市民の割合は低い傾向にあり基準値以下で推移している。 ⇒引き続き、セミナー講座などの開催により市民全体へ男女共同参画について意識啓発が求められる。	●【満足度と重要度】 「保育環境の充実や子育てへの支援」…満足度が高く重要度も高い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 26.4%の割合で「子育てを地域全体で支援する子育てしやすいまちづくりに向けた取組」	●島田市版ネウボラによる担当保健師により、妊娠期から子育て期にわたり、きめ細やかな切れ目ない支援や体制を整えていく。 ●保育所や放課後児童クラブについて待機児童解消に努める。 ●子育て中の女性が働きやすい職場や地域活動にも参加できる環境づくりに取り組む。
	豊かな心と夢や希望をもった子どもを育てる	●小中学校の児童・生徒の自分にはよいところがあると答えた割合は、小学生においては高い値であるがR3よりも下がり基準値以下で推移している。 中学生においては基準値を上回り推移している。 ⇒自己肯定感を上げる取り組みが求められる	●【満足度と重要度】 「小・中学校教育の充実」…満足度が高く重要度も高い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 5.1%の割合で「多様な体験活動の充実など、豊かな心を持った子どもを育成する取組」	●児童・生徒が課題意識を持ちながら自ら進んで学び合い、主体的で対話的な深い学びとなる授業を編成する。 ●地域人材や資源の活用により、自然・文化体験、職業体験等をはじめとする地域愛を育む教育活動を展開していく。

基本目標	主な施策	現状と課題		対 策
		第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価書から(KPI)	市民意識調査から	
【基本目標4】 水と緑に囲まれた持続可能な暮らしやすいまちづくり	未来に向けたまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●コンパクト・プラス・ネットワークの推進の重要度は基準値以下で推移している。 ⇒立地適正化計画の認知度を上げていくことが求められる。 ●中心市街地の居住人口は増加においてはR3で増加に転じたがR4は基準値以下となった。 ⇒少子高齢化、若者の都市部への流出など社会的要因があるが、中心市街地のまちづくりが引き続き求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●【満足度と重要度】 ・「コンパクト・プラス・ネットワークの推進」…満足度が低く重要度も低い ・「地震・水害など災害に強いまちづくり」…満足度は低い重要度が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な都市づくりへの転換を図るため、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進する。 ●中山間地域において、集落生活圏(小さな拠点)づくりの取り組みを推進する。 ●中心市街地を魅力ある場所に磨き上げ、人がまちなかで時間を使いたくなる空間と日常的な賑わいを創出する。 ●デジタル技術を活用した災害情報等の迅速な処理・周知を行い危機対応能力の向上を目指す。
	誰もが快適で暮らしやすい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●健康マイレージに取り組む市民は、基準値以下で推移しており、健康に無関心な市民への対応が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●【満足度と重要度】 ・「在住外国人との交流・共生」…満足度が低く重要度も低い ・「国際交流や都市間交流の推進」…満足度が低く重要度も低い ・「障害者が生活しやすい環境づくり」…満足度は低い重要度が高い ・「健康の増進」…満足度が高く重要度も高い ・「生涯スポーツへの支援」…満足度は高い重要度が低い ・「生涯学習への支援」…満足度は高い重要度は低い 	<ul style="list-style-type: none"> ●在住外国人と対等な関係を築き、地域社会の構成員となって安全・安心に暮らすことのできる多文化共生の地域づくりを推進する。 ●障害のある人が高齢になっても住み慣れた地域の中で安心して日常生活を送るためサービス提供事業所を支援する。 ●デジタル技術を活用するなど更なる健康マイレージの充実と普及を図る。 ●食育や食生活改善など生活習慣の改善を促進し予防に取り組む。 ●高齢者の個別相談や気軽に参加できる運動教室や地域活動を実施するなど自発的な社会参加を促す。 ●市民ひとり1スポーツの実現に向け、市民誰もが気軽にスポーツに親しみ、継続できる環境を整備する。 ●デジタル社会で快適に暮らすための取組を推進する。
	地域包括ケアの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者のしまとしと居場所づくり事業実施箇所数の達成率は半数に達していない。 ⇒高齢者の居場所づくりへの対応が求められる。 ●高齢者見守りネットワーク事業所数は増加傾向にあり達成率は89.6%となった。 ●在宅看取りは目標値を上回り推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●【満足度と重要度】 ・「高齢者の医療・介護・福祉の充実」…満足度が高く重要度も高い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 36.0%の割合で「包括ケアの推進」 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体となった「地域包括ケアシステム」の推進を図る。 ●高齢者が気軽に集まり交流できる居場所づくりと各種高齢者サービスを実施する。 ●総合医療センターにおける医療従事者の確保に努める。
	効率的で、持続性の高い公共交通体系の構築	<ul style="list-style-type: none"> ●地域公共交通利用者と運行平均収支率は基準値以下で推移している。 ⇒利用しやすい公共交通機関の確保が求められる。 ●新たな手段による公共交通の運行を開始した地区の数は徐々に増え達成率75.0%となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●【満足度と重要度】 ・「公共交通機関の充実」…満足度は低い重要度が高い ●【持続可能な暮らしやすいまちづくりを行うための重要と思われる取組】 26.7%の割合で「通勤・通学・買い物や通院などの利便性の確保など、公共交通網の整備」 	<ul style="list-style-type: none"> ●最新技術を活用した利用しやすい公共交通の確保・充実を図る。 ●鉄道とバス間のスムーズな乗り継ぎを確保するマルチモーダルな交通体系の構築など、交通結節点機能の強化を図っていく。